



# 冬山に抱かれて育つ 庄原の宝

■発行:平成29年2月20日

## 12月定例会

- P.2 主な議案
- P.3 所管事務調査報告
- P.4 一般会計補正予算減額修正
- P.6 議決結果
- P.8 一般質問
- P.15 議会活動 1年間(平成28年)

第50号

市議会だより

し  
ら  
が  
ら  
ひ  
ら  
い

[平成28年]

12月

# 定例会

12月定例会は、12月1日から12月21日までの会期中に開かれました。

一般会計補正予算など議案27件、請願1件、発議2件を審議しました。

主なものは次のとおりです。

議案第183号  
指定管理者の指定について

(施設の名称)

庄原市斎場、庄原市西城斎苑、庄原市東城斎場、庄原市口和斎場、庄原市高野斎場、庄原市比和斎場、庄原市総領斎場

(指定管理者に指定しようとする団体)

庄原市斎場管理グループ  
代表幹事 株式会社備北祭典  
代表者 代表取締役 櫻田亮太  
所在地 川北町380番地4

【付託先】

教育民生常任委員会

【委員長報告】

審査において、備北祭典とJVを組む業者について、どのように感じているかとの質疑に対し、現時点でトラブルの話はなく、社員教育も徹底されていることから、備北祭典と組まれることにより、それぞれのノウハウを生かし、市民サービスの向上につながるものと考えているとの答弁があった。

▽原案可決

## 主な議案

議案第174号

庄原市職員の退職管理に関する条例

地方公務員法の改正によって新たに退職管理制度が設けられたことから、再就職者による依頼等の規制など、職員の退職管理に関し必要な事項を定めるため、条例を制定するもの

【付託先】

総務常任委員会

【委員長報告】

委員からの本市の実態を問う質疑に対し、本市において、こういった条例が必要となるような事例はないが、発生す

る可能性を限りなくゼロにするために本条例を制定したいとの答弁があった。さらに、職員への啓発効果も狙っているとの説明があった。

▽原案可決

議案第175号

庄原市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例

農業委員会等に関する法律の改正にもとづき、庄原市農業委員会の委員数及び農地利用最適化推進委員の定数を定めるため、条例を制定するもの

【付託先】

企画建設常任委員会

【委員長報告】

本案は、農業委員の選出方

法が、公選制から議会の同意を要する市長の選任制に変更され、農業委員とは別に、現場活動を担う農地利用最適化推進委員が新設されたことに伴い、その定数を定めるものである。

審査においては、どのような基準で定数を定めているのかとの質疑に対し、農業委員の定数は、本市の広域さを踏まえ、上限の24人を定数としている。農地利用最適化推進委員は、上限が74人であるが、農業委員にも地域での現場活動をやっていただくということで、農業委員の定数を除いた50人を定数としたとの答弁があった。

▽原案可決

議案第176号

庄原市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

庄原市農業委員会農地利用最適化推進委員の報酬額を定め、あわせて農地銀行を廃止するため、条例を改正するもの

【委員長報告】

審査において、農地利用最適化推進委員の報酬について、どのような検討がなされたのかとの質疑に対し、農地利用最適化推進委員は、農業委員のように、総会での議決権がないことなどを踏まえ、本市の農業委員報酬である月額2万9,500円を勘案し、2万5,200円を設定しているとの答弁があった。

▽原案可決

請願第1号  
障害者の移動について

いま一度、障害者の立場に立った福祉タクシー券の利用法について再考を要望するもの

【請願者】

庄原市身体障害者連合会  
会長 榎原 五郎氏

【紹介議員】

松浦昇議員

【付託先】

教育民生常任委員会

【委員長報告】

審査においては、県内で唯一、ガソリン券を発行されている三次市の視察を行い、実態を調査した。また、社会福祉課より説明を受け、加えて、請願者を参考人招致して状況を聴取した。

委員からは、本市は広大な面積を有し、公共交通機関が不足していることから自家用車での移動が合理的で、ガソリン券のほうが有効であるとの意見もあったが、一方で、ガソリン券は本人が使ったという明確な証明が難しいことや、利用率の低いタクシー券について再度検討する必要があること、さらに不適切な利用に関して制度の趣旨や利用者のモラルを考える時間が必要との意見が出された。

あること、さらに不適切な利用に関して制度の趣旨や利用者のモラルを考える時間が必要との意見が出された。

▽不採択  
※本会議では、賛成多数で採択となりました。

意見書

次の意見書が可決され、国や関係省庁に提出し、その実現を図るよう求めました。

発議第8号

安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書

1. 消費税率の引き上げ延期による地方における社会保障の充実施策の実施に、支障が生じることのないよう、所要の財源を確保すること。特に、要望の強い保育の受け皿整備に係る財源については、地方負担分も含めて国の責任において適切に財源措置を講じること。

ほか3項目  
▽原案可決

発議第9号  
地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

統一地方選挙の投票率は低下傾向にあり、無投票当選者の割合が高くなるなど、住民の関心の低さや地方議会議員のなり手不足が深刻な問題となっている。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現されるよう強く要望する。

▽原案可決

所管事務調査報告

企画建設常任委員会

観光振興施策について

【はじめに】

観光客が旅先に求める要望は多様化してきており、今後の観光振興施策の推進においては、地域みずからが価値を見出し、来訪者を集める体制の構築が求められている。

【総括】

現在の観光振興施策に対する本市の取り組みは、観光協会、行政、各民間事業者が独自に実施しているが、今後、観光に対する自治体間競争が激化することが予想される中においては、さまざまな団体、人、観光資源が連携した体制の構築が必要である。

【庄原市観光協会・株式会社広島銀行との意見交換】

場所／楽笑座(西本町)

●意見交換の内容／インバウンド旅行者の増加や2020年の東京オリンピック開催に向け、国内各地で広域観光エリアが形成されており、今後、そのエリア間競争は激化することが予想される。

また、地方創生の深化に向けた政策の柱として、地方に仕事を つくること が挙げられており、その中で、観光業を強化する地域における連携体制の構築の必要性に触れられている。その政策において、日本版DMOが観光地域・ブランドづくりの核と位置づけられている。

【その他の調査事項】

- ・農業振興施策について
- ・林業振興施策について

報告書は、市議会のホームページに掲載しておりますので、ごらんください。



**12月  
定例会**

# 一般会計補正予算案を減額修正 特別会計等補正予算案を原案可決

■ 平成28年度庄原市一般会計補正予算(第5号)

**補正額** 1億8,147万6千円増額

**補正後の総額** 308億9,915万4千円

今回の補正予算では、国の第2次補正予算に関係する臨時福祉給付金事業の経費などが計上されました。予算案は予算決算常任委員会に付託し審査され、本会議で採決されました。補正予算の内容の主な事業は次のとおりです。なお、修正議案については次ページに詳細を掲載しています。

## 《一般会計補正予算の主な内容》

事業名 補正額	補正内容
臨時福祉給付金事業 【1億5,785万3千円追加】	国の補正予算により給付することになった臨時福祉給付金事業に係る経費。
和牛振興対策事業 【8,570万円追加】	全農広島が七塚原青年の家跡地に建設する和牛TMR(混合飼料)センターに対する補助金。
県営土地改良事業 【2,114万円追加】	国の補正予算に伴い、県が実施するキャベツ団地関連の圃場整備とため池整備について増額となったため、市の負担金も追加するもの。
橋梁維持事業 【1億1,713万4千円減額】	国の社会資本整備総合交付金の内示により東城地区小学校表線の朽木橋のみの施行とし、庄原地区市道三日市門田線の胡橋橋梁修繕の委託料の精算などにより減額。
小学校施設整備事業 【5,968万円追加】	国の補正予算の交付金事業に内定したため、平成29年度実施予定の小学校普通教室冷房整備事業を前倒しして、市内6小学校の普通教室にエアコンを整備するもの。

## 《特別会計・企業会計補正予算の主な内容》

会計名 補正額	補正後の総額 補正内容
国民健康保険特別会計補正予算(第3号) 【2億2,895万2千円追加】	一般被保険者療養費・療養給付費、退職被保険者等療養給付費などの所要額を推計し追加するもの。 (補正後の総額49億4,029万5千円)
介護保険特別会計補正予算(第3号) 【7,177万9千円追加】	平成27年度国庫支出金等の精算返納など。 (補正後の総額64億2,182万4千円)

### 予算決算常任委員会

**委員長報告** (概略)

12月1日の本会議において12議案が一括上程され、説明後、総括質疑を経て本委員会へ付託された。

8日の委員会において、冒頭、長期総合計画・前期実施計画見直し案等の概略説明を受けた。続いて詳細な説明を受け、付託された各補正予算を一括審査し、質疑が行われた。

その後委員会を延会し、19日には委員会の再開に先立ち、第187号の庄原市一般会計補正予算第5号に対して、赤木忠徳委員を初め10名の委員から修正議案が提出された。この修正議案は、原案から、庄原市こども未来広場(仮称)整備計画案に係る予算科目を削除するものであった。

提案理由は、庄原市議会基本条例第7条に基づき慎重に判断した結果、背景や経緯、市民参加の実施、総合計画との整合性、財源措置等が不十分と判断したとするものであった。審査の過程では、唐突な提案であること、事業規模や財政上の課題、4施設の一体的整備による利便性の有無などが論点となった。

採決の結果、修正議案を賛成多数で可決した。また、修正可決部分を除く原案については、全員賛成により可決した。

その他の特別会計及び企業会計、11議案の審査結果については、主に人件費の調整など共通した内容であり、質疑応答を経て全員賛成での可決となった。

# 修正議案可決

## 議案第一八七号 一般会計補正予算第五号

議案第一八七号 一般会計補正予算第五号は、庄原市子ども未来広場(仮称)整備計画関連の予算を全額削除した修正議案が、12月21日の採決において可決されました。

### 【庄原市子ども未来広場(仮称)整備計画事業の概要】

さらなる“あんしん”が実感できる子育て環境を構築するために、庄原市街地の中心部に、子育て支援施設(ひだまり広場・放課後児童クラブ設置施設)、病児病後児保育施設及び小児科診療所からなる「庄原市子ども未来広場(仮称)」を計画。本年度補正予算で、調査設計費の委託料として3,674万6千円を計上。事業計画は平成28年度から30年度で、総事業費は8億7,639万円(うち起債・補助金7億3,527万5千円、一般財源1億4,111万5千円)を計画。

### 審議の流れ

庄原市子ども未来広場(仮称)事業を含む一般会計補正予算は、本会議初日に上程され、予算決算常任委員会へ付託されました。

委員会での慎重審査の結果、複数議員の連名により、同整備計画関連の予算を全額削除した修正議案が提出され、可決されました。

この間、本会議の一般質問においても、複数の議員がこれについて質問を行いました。

本会議最終日の委員長報告の後、修正議案に対して、議員間で反対、賛成の討論が行われ、採決の結果、修正議案が可決されました。また、修正された部分を除く原案は、全員賛成で可決されました。

本会議や委員会における市

長等への主な質疑及び討論の抜粋は次のとおりです。なお、各議員の投票結果は6ページに掲載しています。

### 主な質疑

**問** 議会も現場も、計画の内容を全く知らない提案の仕方は問題ではないか。

**答** 医師の確保というデリケートな問題があり、事前の事業説明や検討委員会の立ち上げ等ができなかった。

**問** 新年度予算では地方交付税が7億5千万円減額となり財政状況を考えると厳しいのではないか。

**答** 実施計画へ計上し、新たな財政計画を策定すること、事業実施は適切に行えると考えている。

**問** 4つの施設を分けて提案できないのか。

**答** 施設を集約し子育て環境を総合的に支援することが趣旨。

**問** 新年度に提案できないか。  
**答** できるだけ早くサービスを提供できるよう、平成30年度の4～5月頃には開始する計画である。

### 主な討論

**原案賛成** 病児病後児保育施設の開設は本市の懸念事項であり、「庄原の小児科医療を考えるひだまりの会」を初め、1,100名以上の方からも開設を求める署名も提出されている。

**修正議案賛成** 小児科診療所について、広島県は、庄原市休日診療センターの活用も市から相談があれば内部検討すると言われており、再検討の余地があるのではないか。

また、病児病後児保育施設は、かかりつけ医等に受診し、医師連絡票があれば利用できるので、小児科医院と一体化しなくてもよいのではないかと。各施設の設置については、関係者と議論し、最適な形で実現できるよう、計画全体の再検討を求めます。

**原案賛成** 産科再開のための環境整備として、庄原で開院したい小児科医の確保は重要。庄原赤十字病院の小児科医や三次中央病院の産科医の負担を軽減し、子育て支援ワンストップの拠点として整備を実現すべき。

**修正議案賛成** 放課後児童クラブを学校の敷地外に建設

することについて、計画図面を見ると、学校のグラウンドとの間に横断歩道があることから、建物駐車場内にあることから、子供達の安全が保障できない。複数の施設を1箇所に集めるリスクは大きい。

**原案賛成** 反対の多くは、行政内部の提案手続きに関する意見で、市民の理解を得られるだけの理由はない。

また今回は、補正予算案である調査設計委託料の算出根拠の計画案であり、安全確保や運用については、今後、関係者等の意見を取り入れて基本計画に盛り込まれる。

**修正議案賛成** これほど大きな事案が突然出され、しかも4つの施設がセットになっている。放課後児童クラブ4億2,600万円、子育て支援施設1億4,000万円がなぜ一緒なのか。一つ一つ大きな事案なので、立ち止まって、議会で審議すべき。

なお、この件に関する予算は、平成29年1月31日の臨時会において、計画案を、小児科診療所と病児病後児保育施設の2施設に縮小され、全会一致で可決されました。

●平成28年12月

# 定例会議決結果

## ■賛成全員のもの

議決日	種類	番号	事 件 名	議決結果
1日	議案	177	庄原市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		178	庄原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		179	庄原市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		180	庄原市病院事業管理者の給与等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		181	庄原市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		182	庄原市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		184	指定管理者の指定について〔庄原市上野総合公園〕	原案可決
		185	指定管理者の指定について〔庄原市ひば道後山高原荘〕	原案可決
		186	広島県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び広島県市町総合事務組合規約の変更について	原案可決
	発議	8	安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書	原案可決
21日	議案	174	庄原市職員の退職管理に関する条例	原案可決
		175	庄原市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例	原案可決
		176	庄原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		199	庄原市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		200	庄原市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		187	平成28年度庄原市一般会計補正予算(第5号)	修正案を除く 原案可決
		188	平成28年度庄原市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
		189	平成28年度庄原市国民健康保険特別会計(直診勘定)補正予算(第1号)	原案可決
		190	平成28年度庄原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
		191	平成28年度庄原市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
		192	平成28年度庄原市介護保険サービス事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
		193	平成28年度庄原市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
		194	平成28年度庄原市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
		195	平成28年度庄原市浄化槽整備事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
		196	平成28年度庄原市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
		197	平成28年度庄原市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
		198	平成28年度庄原市国民健康保険病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決
			発議	9

## ■賛否の分かれたもの

議決日	種類	番号	事 件 名	議決結果	賛成(人)	反対(人)	政野(人)	近藤(人)	徳永(人)	坂本(人)	田中(人)	岡村(人)	福山(人)	宇江田(人)	吉方(人)	林(人)	八谷(人)	横路(人)	垣内(人)	竹内(人)	堀井(人)	松浦(人)	谷口(人)	赤木(人)	門脇(人)
21日	議案	187	平成28年度庄原市一般会計補正予算(第5号)に対する修正案	可決	10	8	×	○	×	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×	○	議長	○	○	○	○
	議案	183	指定管理者の指定について〔庄原市斎場、庄原市西城斎苑、庄原市東城斎場、庄原市口和斎場、庄原市高野斎場、庄原市比和斎場、庄原市総領斎場〕	原案可決	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	×	○	○
	請願	1	障害者の移動について	採択	10	7	×	×	○	棄	○	×	○	○	×	×	○	×	×	○	議長	○	○	○	○

(表示例) ○…賛成 ×…反対 棄…棄権 議長…議長職

ただいま

調

査中!

委員会の活動状況を報告します。

### 教育民生常任委員会

#### 【地域包括ケアシステムについて】

教育民生常任委員会では、平成26年3月から地域包括ケアシステムについての調査を継続して行っています。

本市における地域包括ケアシステムは、おおむね中学校区単位ごとの日常生活圏域において、医療と介護・住民相互による支えあいなどがバランス良く一体的に提供できる地域完結型のサービスを、多様な主体が協働して創造するものです。これまでに、保健・医療・福祉・介護のネットワーク（フォーマル・ネットワーク）と地域住民による高齢者支援ネットワーク（インフォーマル・ネットワーク）の融合が、この地域包括ケアシステム構築の鍵であると考え、その実現に向け取り組みを進めています。

本委員会では、これまでも先例地である埼玉県和光市への視察や調査等を行ってきましたが、今回は11月

28日に総領支所で常任委員会を開催し、総領地域日常生活圏域ケア会議の具体的な取り組みについて執行者から説明を受けました。また、委員会終了後に、総領地域ケア会議のメンバーと意見交換を行いました。

この地域ケア会議は、多職種協働による個別ケース（苦難事例等）のケアマネジメント支援を行い、各機関相互の連携構築や地域課題の解決を図る有効な手法として活用をされています。

総領地域ケア会議では、毎週金曜日にランチミーティングとして1時間、関係者が集まり、集中的に事案を協議されます。また、二次的な団体とされている自治振興区が参加することにより、地域が連動した地域課題の解決に結びつく活動となっていることが特徴的です。関係機関の連携も非常に密接で、メンバーの意識や意気込みも高く、他市にも劣らない現場の取り組み状況について貴重な意見を聞くことができました。

本委員会では、今後、これまでの調査結果をまとめて報告をするように準備を進めています。



総領地域ケア会議のメンバーと意見交換を行う

委員会構成が変更されました

平成28年11月30日付で、五島誠議員より辞職願が提出され、同日受理されました。これにより、議員数は19名となり、次のとおり委員会構成が変更となりました。

#### 議会運営委員会

【委員】↓副委員長 政野 太  
新たに選任【委員】 徳永 泰臣

#### 総務常任委員会

【副委員長】↓委員長 宇江田豊彦  
【委員】↓副委員長 赤木 忠徳  
※1名欠員

#### 議会広報委員会

新たに選任【副委員長】  
宇江田豊彦

#### 木質バイオマス活用ブランド整備補助事業調査特別委員会

※1名欠員



# 一般質問

12月定例会では、12名が一般質問を行いました。



文化の拠点施設となる  
市民会館の整備計画について



こんどう ひさこ 議員  
近藤 久子

**問** 庄原自治振興センターも含め、老朽化が進んでいる。市民に対して、いつ施設の将来像を示されるのか。

**答** 市民会館は、文化芸術活動等の拠点となる大規模な施設であるため、今後の方針が他の公共施設に与える影響も大きく、市街地の機能強化や公共施設の最適な配置などを含め、総合的な検討が必要である。

今後、市民会館を含めた庄原市街地における公共施設のあり方について、施設の状態や将来の人口推計、財政推計のほか、市民アンケートなどを実施し、関係部局が連携を図り、調査・検討を進めていく。

さらに市民の皆さん等の御意見を反映させるため、検討委員会の設置など、多角的な視点から将来を見通した市街地の公共施設のあり方

を整理し、平成30年度をめどにブランドデザインを含め、市民会館の整備方針を示すことができるよう努めていく。

市長及び管理職は  
「イクボス宣言」を

**問** 市役所は他の企業の模範となるべきであり、職場でも働く職員のワーク・ライフ・バランスを考えるためにも有効かつ先進的な取り組みではないか。

**答** 近年、全国的に、民間企業や自治体のリーダーみずから、職場でも働く部下の家庭生活と仕事との両立を応援する「イクボス」を宣言することにより、職場内や地域社会における意識改革や行動変容を図ろうとする事例が見られる。

県内の地方公共団体では、広島県の湯崎知事を筆頭に、広島市や廿日市市長が、また、廿日市市では市長から部長級までの幹部職員が、イクボス宣言をされている。

今後、イクボス宣言なども参考にしつつ、事業所として、また地域を先導する自治体として、ワーク・ライフ・バランスが確保できる職場づくり及び地域社会の実現をめざし、効果的な取り組みを検討していく。

# 一般質問



よころ まさゆき  
横路 政之 議員

わが町に五輪選手を

**問** 東京オリンピックに向け、選手の事前合宿を誘致し、相互交流を深める国のホストタウン事業に登録し、地域の活性化を図るべきではないか。

**答** ホストタウン事業とは、東京オリンピック・パラリンピック大会の開催に向け、参加国と受け入れをする地方自治体とが、事前合宿を契機に相互交流を図るため、国に登録する制度である。

広島県は、今年度当初より、事前合宿誘致の取り組みを進めており、また、県全体での取り組みとするために、県内各自治体に参加案内を行っている。

現在、受入国の正式な決定はしていないが、鋭意交渉を重ねている状況であり、最終的に、広島県としてホストタウン制度への登録に向け調整している。

本市としては、広島県の受け入れが決定した場合、ホストタウン制度に参加

加する意向を伝えている。

引きこもり者の  
社会復帰支援について

**問** 現役世代の引きこもりは家族の負担を含めて大きな問題である。未把握の調査を実施し、対策を講じるべきではないか。

**答** 本市では、多様な相談内容から引きこもり該当者を特定する取り扱いとしているが、引きこもりに関する相談は少なく、その要因となる病気や障害、結果として生じる生活困窮などの相談において対応している。

本市独自の実態調査については、引きこもりが疑われる情報を得て家族の方に様子を伺っても、家庭訪問や行政の関与を断られる場合があるほか、個人情報保護の観点から、情報の収集にも制限があるため、これまで同様、相談に基づく対応が適切であると考えている。

引きこもりは、顕在化した社会問題であり、相談窓口を周知することともに、長期化しないよう早期の相談を呼びかけ、関係機関とも連携を図りながら、対象者の社会復帰、家族の負担軽減に努めていく。

その他の質問

○公共施設等の現状と課題について



はやし たかまさ  
林 高正 議員

板橋小学校の  
トイレ不足等について

**問** 児童数170名でありながら、トイレの数は改築時のままであり、列ができるほどトイレ不足は深刻と聞いているが、その対応を伺う。加えて、洋式化の進展について伺う。

**答** 板橋小学校は、ここ5年間で児童数が40名余りふえているにもかかわらず、平成3年の建築時から、校舎内にあるトイレの個数は変わっていない。特に、1校時と2校時のあいだの5分間休憩において、男女ともに1階トイレの使用が混み合う現状がある。

このことを回避するため、5分間休憩を10分間に拡大することや屋内運動場のトイレも利用することなど、問題を解決するために工夫をしている。

しかし、これらの対策では、根本的な解決にはならないため、今後も状況

の改善が見られない場合には、トイレの増設についても、場所や費用の問題を十分精査し、検討する必要があると考えている。

また、学校施設のトイレの洋式化については、今後、各学校の建築経過年数や老朽化の進行具合に応じて実施する長寿命化改修などにあわせて、検討していく予定としている。

しかし、近年の生活様式の変化に伴い、トイレの洋式化が進んできている現状を踏まえると、特に洋式便器の設置個数が少ない学校において、今後、児童生徒の使用状況に影響が出てきた場合、長寿命化改修を待たずに、先行してトイレの洋式化を図りたいと考えている。



その他の質問

○市民会館と庄原自治振興センターの現状認識と将来ビジョンについて

○田園文化センターの課題について



谷口 隆明 議員

子ども未来広場(仮称)について

**問** 公共施設等総合管理計画の視点から遊休地や遊休施設の活用など、総合的な検討、また、休日診療センターの活用などの方策は考えたのか。

**答** 子ども未来広場の整備についても、市街地における遊休施設の利活用を含めて検討したが、特に施設の集約化による拠点性と利用者の利便性を重視し、最適な場所に最適な形態で整備するよう予定するものである。

また、休日診療センターは、休日における救急患者への応急的な診療を目的としており、広島県の補助金で整備している。仮に、小児科診療所として使用する場合は、子供の医療機器等の整備・追加やトイレの一部改修等が求められるほか、県知事の承認が必要となる。

2階部分を病児病後児保育施設で

使用する場合は、調理室や病児用トイレの整備など、大規模な改修を伴うほか、明らかな目的外使用となり、県の補助金交付要綱に照らし、補助金の返還が求められる。

学校再配置について

**問** 文部科学省の「公立小・中学校の適正配置に関する手引き」にも、地域住民や学校支援組織の十分な理解と協力を得て進めるとあるが、教育委員会の考えを伺う。

**答** ご指摘の事項は、手引において留意すべき点として示されているが、学校適正配置検討委員会においては、さまざまな立場から本市の小中学校における実情を踏まえ、多様な意見が出されている。

教育委員会では、この検討委員会からの提言を受け、具体的な取り組み方針や基準を定めていくこととしている。その際、望ましい教育環境や、学校教育の充実には保護者や地域の人たちの温かい支援や協力が大切であること等も十分考慮し、具体的な検討を行いたいと考えている。

その他の質問

○山林境界明確化事業について

本市における墓地のあり方について



吉方 明美 議員

**問** 高齢化が進み、墓地の管理が負担になっている。市営共同墓地の設置を求める。

**答** 墓地・埋葬等に関する法律で、市は墓地の経営許可権を有するところであるものの、責任を持って死者を弔い、墓地等を設けなければならぬ旨の規定はない。

県内における市営の公園墓地、納骨堂の整備状況であるが、公園墓地は、呉市が2カ所、江田島市が2カ所、納骨堂は、広島市、東広島市及び江田島市が各1カ所整備されている。

これらの市が整備された背景には、個人での用地確保が難しいなどの事情があるものと推測されるが、本市においては、市が整備すべき特別な理由はないものと認識しており、墓地は個人または共同で所有され、原則的には自己管理していただきたい。

庄原小学校の放課後児童クラブについて

**問** 子ども未来広場への移転計画は安全が保障できない。計画は白紙に戻し、小学校の敷地内に建設すること。

**答** 現在、本市の放課後児童クラブは11カ所で運営しているが、設置場所の内訳は、空き教室が2カ所、学校の敷地内が庄原小学校を含めて2カ所、学校の隣接地が2カ所、学校から離れた場所が5カ所であり、いずれも安全性、利便性等を考慮して定められている。

今回の予定地についても、歩道が整備されていること、信号機付きの横断歩道を利用すること、また、その横断歩道を利用し、現に小学生が安全に通学していることから、道路横断が必要であることをもって、「安全性に問題がある」とは考えていない。

なお、新施設には軽運動のできる室内スペースを設けるほか、低学年の道路横断における支援員の付き添い、季節に応じた外遊び時間の設定など、新たな取り組みを検討することも、子供がみずから危険回避できる生活習慣・交通ルールの習得支援にも努めていく。

# 一般質問



う え だ と よ ひ こ  
宇江田豊彦 議員

## 教職員の超過勤務について

**問** 教職員の超過勤務実態は改善されておらず、なお深刻な状況が続いている。学校教育における最大の教育条件整備として改善の取り組みを伺う。

**答** 本市では、昨年度末から今年度にかけて、業務の効率化を進めるため、校務支援システムを導入し、パソコンで児童生徒の出席管理や成績管理を行えるようにした。

また、県教育委員会から指定を受けた業務改善モデル校3校では、各校1名ずつ県費職員を加配していただき、計画的・効率的な業務遂行に努めるなど、取り組みを研究している。

さらに、県教育委員会に加配教員や非常勤講師の増員を求め、市費の非常勤講師、特別支援教育支援員などを増員するなどしている。

今後、教職員が健康で意欲的に仕事をしていくために、勤務時間外の在

校時間の減少に向け、各学校の状況を把握し、指導助言を行うとともに、業務の効率化につながる取り組みを進めていく。

## 庄原市人権教育・啓発推進プランの進捗状況について

**問** 格差社会がより深刻化する中、「庄原市人権教育・啓発推進プラン」がどのように機能しているのか。今日的人権情勢を踏まえた上での取り組みになっているのか伺う。

**答** 人権に関する課題は、社会環境の変化だけでなく、暮らしや価値観の多様化により、近年、複雑化していると感じている。

人権教育・啓発推進プランの中で、各人権課題に掲げた12項目のうち、平成27年度における事案の発生状況は、女性ではDVが20件、子供では児童虐待が73件、いじめが19件、高齢者では、高齢者虐待が32件となっている。同和問題では、公共施設等への差別落書きが、平成25年度9件、平成26年度3件、平成27年度2件となっている。

認知件数の増減にかかわらず、現に問題事象が発生している実態から、さらなる教育・啓発が必要な状況であると認識している。



と く な が ひ ろ お み  
徳永 泰臣 議員

## 比婆山連峰の今後の活用について

**問** 比婆山連峰にある門梅の保存が不十分であり、文化財指定を行う等、適切に対応すべきと思うが、考えを伺う。

**答** 比婆山御陵には、イチイの木が数多く存在し、その中でも登山道の両側に門梅のように立っている2本のイチイの古木を通称、門梅と呼んでいる。

この門梅を初めとしたイチイ群については、合併前の西城町において町の天然記念物として指定し、合併後も市の天然記念物として、引き続き保存・活用を行っている。

この門梅については、近年、木が弱っていることを確認し、文化財保護審議会の指導をいただきながら、昨年11月に、地元の有志、西城支所と一緒に、水はけの改善や根を傷めないように迂回路を設けるなど、保護活動を実施した。

また、今回の「日本誕生の女神」の編集に当たり、御陵山頂部で現地調査を実施したところ、イチイ全体の分布状況などが確認できたことから、引き続き全体調査を継続し、保存・活用について検討していきたい。

なお、保護管理については、周辺一帯が国定公園に指定されていることから、自然公園法などの制約があることもあり、管理者である広島県や土地所有者等と協議し、慎重に進めていきたい。

**問** 近年、トレッキングブームで女性登山者も急増しているが、特に、立烏帽子駐車場のトイレが使えない状況にある。早急な対応が必要と思うが、考えを伺う。

**答** 立烏帽子駐車場のトイレは広島県の施設で、経年劣化により使用できなくなつたことから、設置者の県と管理者の比婆の森による協議の上、平成28年8月よりトイレが閉鎖されている。

そのため、秋の登山シーズンの緊急対応として、庄原市観光協会が11月1日から23日まで仮設トイレ2基を設置した。

今後の対応については、県がトイレ改修に向け、平成29年度の予算確保に努められており、本市としては、引き続き一日でも早いトイレ使用の再開を県へ要望していく。



あかぎ ただのり 議員  
赤木 忠徳

予算執行状況を踏まえて、  
本市の未来を創造する

**問** 人口3万3,800人の岩手県紫波町は、厳しい財政状況の中で公共事業のあり方が問われ、従来の組織に捉われず、新しい発想や仕組みにより、補助金にたよらず、公民連携で地域活性化を進め、年間80万人が訪れるようになつた。このような全国の優良事例を駅前構想に大いに参考にするため、職員の派遣や改革が必要と考えるがどうか。

**答** 庄原駅周辺地区土地区画整理事業については、平成5年度の事業規模は15・5haで都市計画決定をしていたが、財政状況を鑑みて、事業の実効性を検討した結果、平成21年度に規模を2・2haに縮小して事業実施している。

現在の事業期間は、平成21年度から平成31年度までの11年間で、総事業費



12億8,000万円を予定している。進捗状況は、平成27年度末までに、移転補償・宅地整地工事・区画道路工事等を実施し、事業費ペースで48%である。宅地整地工事による区画は、全28区画中7区画が完成し、2件の民間住宅の移転が完了している。

今後の駅前における周辺整備の内容については、公共交通の結節点整備としての公園整備とあわせ、庄原市交通交流施設整備、いわゆる駅舎改修事業を実施し、利便性の向上と、にぎわい創出を図っていく。

職員派遣の計画については、区画整理事業に必要な知識の研さんのために、平成20年度から平成27年度までの間に、優良事例を参考とするよう、竹原市ほか7カ所の視察を実施しており、今後も引き続き、先進地の事例収集を行い、公民連携の可能性について研究していく。

ガソリン券の発行を



まつうら のぼる 議員  
松浦 昇

**問** 福祉タクシー事業に自動車燃料費を加え、制度の充実を図ることを求める要望が出ており、合理的配慮を求める。また、障害者基本法には、障害者及び関係者の意見を聞き、尊重するよう努めなければならないとされており、その実行を求める。

**答** 本市の福祉タクシー事業は、タクシーでなければ外出が困難な方を対象と捉えている。みずから運転される障害者の方や家族などが運転する車に同乗される場合は、障害のない方が運転される場合や運転免許がない方が家族の車で外出される場合と同じ形態であり、助成対象としていない。現在の取り扱いは、国の示す合理的配慮の考えに沿ったものであると考えている。

次に、障害者・関係者の意見尊重については、関係者からの意見を伺い、福祉タクシー事業の対象者や交

付枚数の拡大、日常生活用具の品目追加など、制度見直しを行っている。また、新年度には、第3期障害者福祉計画の策定を予定しており、引き続き、障害のある方やご家族、関係者からの意見聴取と意見の尊重に留意していく。

土・日曜日の  
窓口業務の本庁実施を

**問** 平日は仕事で休めない人のため、三次市にならって、個人情報の証明書、パスポートの手続等に限定した事務サービスを休日においても提供するよう求める。

**答** 現在、時間外窓口業務の対応は、本庁・支所ともに宿直員による戸籍届出の受領及び火葬許可証の交付に限定している。

県内他市における土曜日または日曜日の窓口業務は、取り扱う事務の種類や開庁時間に差異はあるが、14市中7市が何らかの対応を行っており、本庁における業務時間の延長、土日の対応に関し、課題と対応、費用対効果等を含め、研究していきたい。

その他の質問  
○担い手の確保と耕作放棄地を増加させない取り組みについて

一般質問



ふくやま けんじ 福山 権二 議員

木山市政の4年間の総括について

**問** 市長に就任して現在までを総括し、公約した政策について実現できたこと、実現できなかったことは何か伺う。また、実現できなかった政策の原因をどのように判断しているのか。

**答** 庄原いちばんづくりを構成する「地域産業」、「暮らしの安心」、「にぎわいと活力」の3つの分野別政策については、それぞれ具体的な施策・事業を明示し、取り組みを着実に進めることで、多くの成果を得つつあると考えている。

分野別政策では、本市が誇る農産品のブランド化・6次産業化の推進による地域産業の活性化や市民が安心して本市に生涯住み続けたいと実感できる環境の整備、本市特有の文化・観光資源を活用した交流促進や若者支援による活力創出など、それぞれの分野別政策の方向性に沿った施策・事業について、手応えも感じ始めている。

これまでの取り組みで、未達成となっている事業では、庄原赤十字病院の産科医療の再開がある。その原因については、全国的な産科医師数の不足と都市部への医師偏在の状況が影響しているものと分析している。「暮らしの安心のいちばん」をより確固なものにするには、産科医療の再開は大きな要素であり、関連事業の推進も含め、引き続き、各関係方面に対し働きかけを続けるなど、実現を果たすよう努力を重ねていく。

**問** バイオマス事業や指定管理者制度、アルゼンチン視察、大相撲庄原場所開催などで議会と一定の混迷があった。議会との連携をどのように考えてきたのか。

**答** 市長就任以降、議会及び市民の皆さんに対して、混迷を招いたという認識はない。市議会との関係については、二元代表制の趣旨に基づき、執行機関として地方自治法の規定や議会で定められた事務手続により、適切に行っており、市議会においても議事機関として慎重に審議いただいている。

今後、二元代表制の趣旨を十分に踏まえ、市政の運営に努め、市民の負託に応えていきたい。



おかむら のぶよし 岡村 信吉 議員

庄原いちばんづくりについて

**問** 比婆牛ブランドの復活は朗報であったが、高齢化による廃業を主因に飼育農家、頭数ともに減少しており、和牛産地として大きな課題となっている。具体的な増頭対策を伺う。

**答** 比婆牛は、平成28年6月に国の地域団体商標の登録を受け、知名度は順調に向上しており、比婆牛肥育牛の出荷頭数も、昨年度51頭の実績に対し、本年度は年間100頭程度と増加を見込んでいます。

一方、和牛の飼養農家戸数は、ここ10年で半減しているが、飼養頭数は、増頭意欲のある担い手の経営規模拡大が進み、比較的ゆるやかな減少に留まっています。

増頭にに向けた取り組みとして、新たな繁殖牛の飼養や比婆牛増産へ向けた交配支援、家畜飼養施設の整備などに対する支援を行っている。

また、来年度、七塚地域に誘致する和牛TMRセンターを最大限活用し、TMR給与に伴う労働力の軽減効果による増頭への誘導や、飼料畑を保有しなくても新規参入が可能となる利点を生かした新たな担い手の確保なども視野に、増頭を進めていきたい。

学校の適正規模・配置の検討について

**問** 学校存続を求める地域感情と児童生徒の教育を優先する保護者の考え方が相反する状況にあると考える。この状況について、見解を伺う。

**答** 学校の存在意義は、児童生徒がいて学校があるということ。踏まえれば、その教育内容を充実させることを原点として考えることが基本であり、望ましい考えである。また、そのことを基盤とした上で、地域の理解や協力があつての学校教育であるということも忘れてはならない。

保護者の考え方や地域の感情が、仮に相反する状況にあつたとしても、児童生徒のよりよい教育環境の創造と充実を図っていくため、保護者と地域の方々の双方へ丁寧な説明を行い、理解と協力を得ながら、学校の適正配置を進めていく。



まさの 政野 議員  
ふとし 太

広報・広聴事業について

**問** 庄原市シテイプロモーション事業について、改めて、その目的と期待する効果を伺う。

**答** 本事業は、本市の地域資源や魅力を高め、その魅力を戦略的かつ効果的に内外に発信していくことで、自治体のイメージを向上させ、交流・定住人口の増加、企業誘致を図ることを目的としている。

また、住民自身が地域の魅力を再確認することで、まちへの誇りや愛着心の高揚など、主体的な地域活動への参加や地域活性化・住民満足度の向上につながるべく考えている。

これまで、PRRO「J」マークを活用した関連グッズやヒバゴンの着ぐるみを製作し、オール庄原で本市をPRする機運の醸成が図られた。本年度は、新たに2市2町共同の広報番組「ひろおく便り」の製作に取り組み、より多くの視聴者に本市の魅力を発信していきたい。

今後も、本事業に取り組むことで、本市がより魅力的なまちになり、住んでも、訪れても、「やっぱり、庄原がいちばんええよのお」と実感できるまちをめざしていきたい。

中学校の部活動の充実について

**問** 中学校の部活動については、保護者、地域も関心が高いと認識している。教育委員会としての部活動に関する認識を伺う。

**答** 各中学校では、部活動を学校教育の一環として推進しており、本年度、市内の中学生の部活動への加入率は100%となっている。

部活動は、スポーツや文化及び科学等に親しみ、技術の向上や教養を深めることができ、また、責任感、連帯感の涵養、好ましい人間関係の形成等に資する大変意義あるものと考えている。今後も、生徒一人一人、また、部活動の各チームや学校が、それぞれの目標に向けて努力していく姿勢を培い、部活動の充実が図られるよう、実態に応じた指導、支援を行っていく。

その他の質問

○超高速情報通信網等の利活用について

傍聴のご案内

本会議、委員会は、どなたでも傍聴できます。会議が行われる議場や委員会室は市役所本庁舎5階です。お気軽に傍聴においでください。また、議場傍聴席では、傍聴に来られた方を対象に無記名によるアンケートを実施しています。ご協力をお願いします。



インターネット視聴のご案内

本会議の様子は、YouTubeで配信しています。

庄原市議会のホームページから、議会中継を選択していただき、**庄原市議会** をクリックしてください。



[平成28年]

# 議会活動一年間

## ●本会議

回数		1	2	3	4	計
会議区分		定例会	定例会	定例会	定例会	
開会日		2月25日	6月14日	9月5日	12月1日	
閉会日		3月25日	6月30日	9月30日	12月21日	
会期日数		30日	17日	26日	21日	
審議案件	条例	22		3	11	36
	予算	34	5	9	12	60
	その他	70	8	30	8	116
小計		126	13	42	31	212
審議結果	原案可決	118	9	21	28	176
	修正可決				1	1
	同意	7		2		9
	承認		3			3
	選任					0
	許可					0
	認定			18		18
	推せん					0
	否決					0
	請願陳情	採択				1
趣旨採択						0
不採択			1			1
継続審査		1		1		2
審議未了						0
選挙					1	1
小計		126	13	42	31	212
議員出席率		100%	100%	100%	100%	100%
出席延人数		120人	100人	140人	95人	455人

## ●常任委員会

常任委員会	区分	回数		出席延人数		出席率	
		開会中	閉会中	開会中	閉会中	開会中	閉会中
総務	委員会	9回	12回	52人	68人	98.1%	94.4%
	調査会		5回		30人		100%
教育民生	委員会	8回	5回	47人	30人	97.9%	100%
	調査会		7回		41人		97.6%
企画建設	委員会	6回	1回	42人	7人	100%	100%
	調査会		2回		11人		78.6%
予算決算	委員会	11回	0回	204人	0人	99.5%	
	調査会		1回		18人		94.7%

## ●議会運営委員会

	回数	出席延人数	出席率
議会運営委員会	32回	186人	96.9%

## ●議員全員協議会

	回数	出席延人数	出席率
議員全員協議会	15回	291人	97.7%

## ●議会広報委員会

	回数	出席延人数	出席率
議会広報委員会	9回	51人	96.2%

## ●予算決算常任委員会 分科会

分科会	区分	回数	出席延人数	出席率
	27年度決算	4回	24人	100%
教育民生	28年度予算	4回	24人	100%
	27年度決算	4回	23人	95.8%
企画建設	28年度予算	4回	27人	96.4%
	27年度決算	4回	24人	100%

## ●特別委員会

特別委員会	区分	回数	出席延人数	出席率
第2期庄原市長期総合計画調査	4回	71人	93.4%	

# 議会の動き

11・12・1月

## 11月

- 1日 議会広報委員会
- 9日 教育民生常任委員会
- 14日 議会運営委員会  
総務常任委員会
- 17日 教育民生調査会
- 21日 議員全員協議会
- 22日 木質バイオマス利活用プラント  
整備補助事業調査特別委員会
- 24日 議会運営委員会  
教育民生常任委員会
- 28日 教育民生常任委員会
- 29日 教育民生調査会

## 12月

- 1日 議会運営委員会  
議員全員協議会

## 12月

- 1日 第4回市議会定例会 **初日**  
企画建設常任委員会
- 6日 教育民生常任委員会
- 7日 総務常任委員会
- 8日 議会運営委員会  
予算決算常任委員会  
企画建設常任委員会
- 15日 第4回市議会定例会 **2日目**
- 16日 第4回市議会定例会 **3日目**
- 19日 第4回市議会定例会 **4日目**  
予算決算常任委員会
- 21日 議会運営委員会  
第4回市議会定例会 **最終日**  
議員全員協議会  
議会広報委員会

## 1月

- 10日 議会運営委員会
- 13日 教育民生常任委員会  
教育民生調査会
- 18日 議員全員協議会  
議会運営委員会
- 19日 議会運営委員会
- 26日 第1回市議会臨時会 **初日**  
予算決算常任委員会
- 27日 予算決算常任委員会  
議員全員協議会  
議会広報委員会
- 30日 第1回市議会臨時会 **最終日**

●行政視察受入状況【1月26日(木)】  
兵庫県淡路市議会 総務文教常任委員会  
(自治振興区によるまちづくりについて)

## 3月定例会の主な日程(予定)

日にち	主な会議名
2月9日(木)	本会議
2月28日(火)	本会議(一般質問〔会派代表〕)
3月1日(水)	本会議(一般質問〔個人〕)
3月2日(木)	本会議(一般質問〔個人〕)
3月3日(金)	本会議
3月9日(木)	本会議

※予定のため、変更となる場合があります。  
詳しくは議会事務局(TEL0824-73-1162)へお問い合わせください。  
本会議は、いずれも午前10時から開会の予定です。

本会議生中継映像・録画映像をインターネット上で配信しています。  
ぜひご覧ください。また、3月3日には、予算決算常任委員会の  
試行配信を行います。

庄原市議会  または、



により、  
庄原市議会ホームページへ  
アクセス

議会だよりも今回で議員任期中では最後となります。この4年間、議会ではさまざまな議論がなされてまいりました。ジュオンの問題では、激しい議論がなされました。また、12月議会では、こども未来広場(仮称)整備計画について、白熱した議論が展開されました。賛成・反対どちらの意見も、本市を、任んでよかったと思えるまちにしたという熱い思いによるものです。

委員会活動では、所管する課題に対し、積極的に調査活動を行い、ときには参考人招致等を行って市民の皆様との多様な意見を聞き取り組みも行ってまいりました。

議会報告会も、21会場に出向き、市民の皆様と実りある対話を実施することができました。

まだまだ課題もありますが、よりよい議会にするため、頑張ります。

議会広報委員会  
委員長 福山 権二  
副委員長 宇江田 豊彦  
委員 横路 政之  
堀井 秀昭  
徳永 泰臣  
垣内 秀孝

## 編集後記

## 《表紙写真の説明》



### 豊かな自然を満喫

1月29日、庄原市西城町のひろしま県民の森スキー場において、『庄原市レベルアップスポーツ教室 スキー教室』が開催されました。

庄原の自然が織り成す雪景色の中、子どもから大人まで74人が参加し、旬のスキーを楽しんでいました。